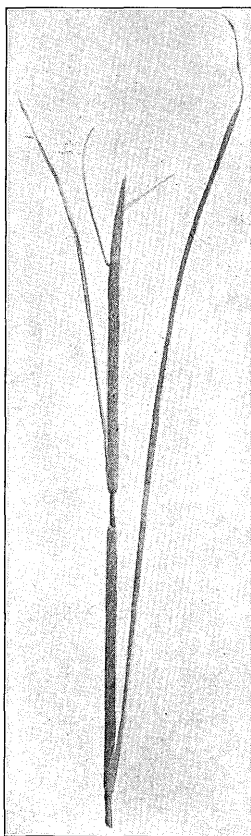


柱頭ガ分裂シテ居ナイ即チ單一デアル私ハ澤山之ヲ檢シタガ皆單一デアル分類上柱頭ガ分岐スルカシナイカト云フコトハ種ヲ分ツニ必要デナイトスレバ其レ迄ノコトデアルガ若シ多少デモ必要ナモノトスレバ此ハ別モノ



(久内寫眞)

ひめがま (*Typha angustata*  
BORY ET CHAUB.) ノ花穂

カモ知レナイ然シ斯ノ如キモノガ東京灣ニ澤山ニアルノデアル人若シ七月始メニ海岸ニ行ツタラ極メテ多量ニ之ヲ實檢シ得ラレルデアラウ、此植物ノ花序ハ長サ九「セメ」半、幅九「ミリ」デ

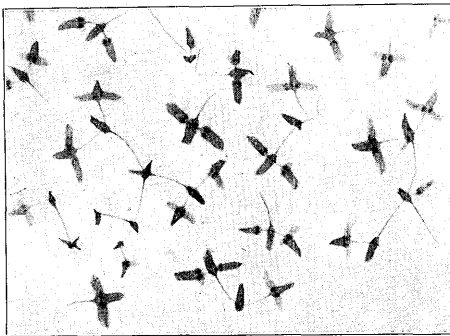
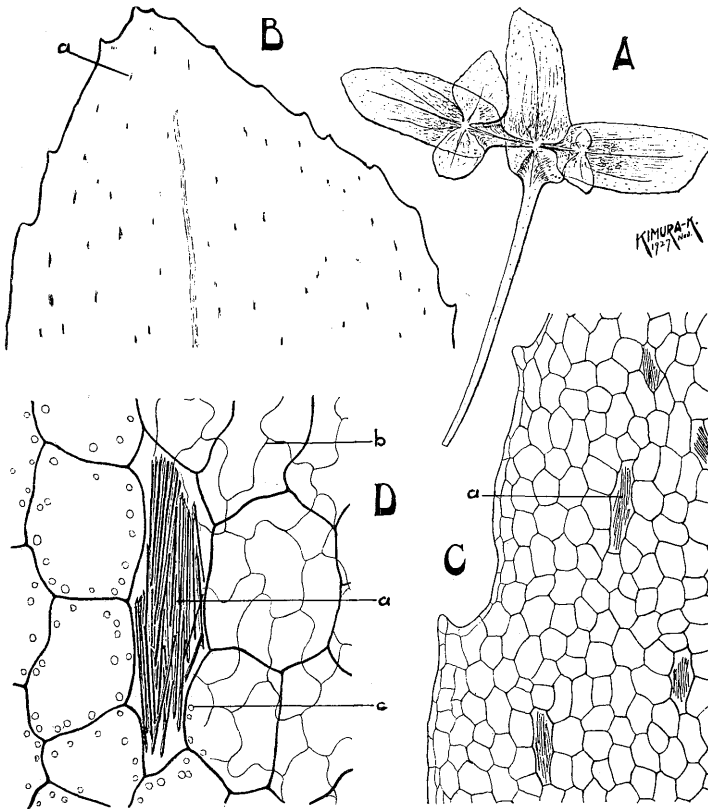
花ハ通常二十個互生シテ著生シ種子ハ縦線ヲ有シ無毛デアル (寫眞參照)

次ニガマ屬 (*Typha*) ノ花デアルガ素人向ノ本デ花穂ノ書イテアル本ハアルガ外國ノ本ノ様ニ雄花ニ數個ノ苞ノ附著シテ居ル圖ノアルノヲ見ルコトハ殆ドナイ仍テ余ハひめがま (*Typha angustata* BORY ET CHAUB.) ニシキ檢セシニ外國ノ本ニアル様ニ日本ノひめがまニモ雄花ニ數個ノ苞ノアルコトヲ見ルコトガ出來タ之デ見ルト此植物ノ雄花ノ花穂中ニハ三―四ノ苞ガアリ雌花ハ基部ニ一個アツテ雌花ノモノハ開花前ニ雌雄花穂ト雄穂ニ伴フ苞ヲ包ミ其先端ハ尋常葉ノ様ナ型ヲ呈シテ居ルノデアル是レハ言フマデモナク雄穂ハ單一ナル花穂ニアラズシテ數個ノ獨立シタル花穂ガ縱徑的ニ短縮シタモノデアルコトヲ説明シテ居ルモノト言ヘヨウ

### ○東針晶(針晶體)ヲ肉眼デ視得ル品字藻

東針晶(針晶體)ヲ肉眼デ視得ル品字藻

藥學士 久内清孝  
木村康一



(久内寫眞)

品 字 も

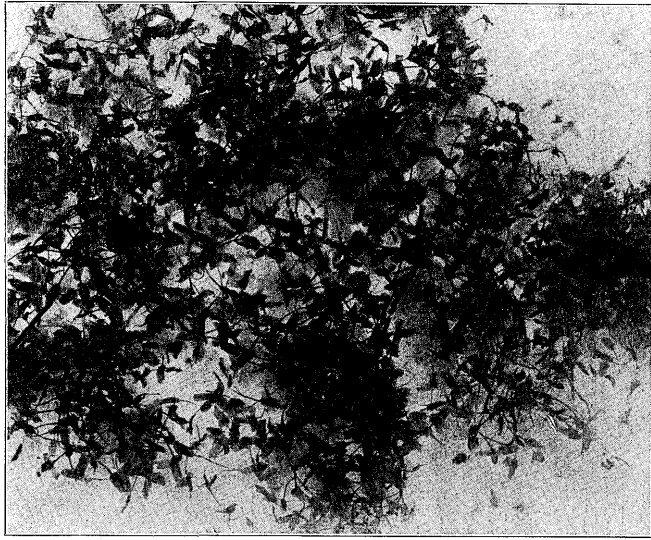
(*Lemna trisulca* L. var. *sagittata* MAKINO)

(A) ひんじも (*Lemna trisulca* L. var. *sagittata* MAKINO)ノ全形擴大 (B) ハ葉狀體ニ於ケル東針晶 (a) ノ散在ヲ示ス (C) ハ同其一部擴大 (D) ハ同更ニ擴大セルモノ (a) ハ東針晶 (b) ハ上皮細胞膜 (c) 葉綠粒

上ノ圖ハ筆者ノ一人デアル木村康一ガ剖見寫生シタモノデ材料トシテハ昨年七月十三日静岡縣田方郡三島町町内ヲ灌流スル水流中ヨリ朝比奈蓄軒久内清孝ガ採集シ來リ「フェルマリン」漬トシテ四ヶ月間貯藏シ置キタルモノニヨリタルモノデアル

束針晶(針晶體)ヲ肉眼デ視得ル品字藻

ハ此上モナキ材料トシテ紹介シテ置ク然シテ歐洲產ノ



(久内留乳)

水中ノ品字も

(*Lemna trisulca* L. var. *sagittata* MAKINO.)

品字藻ハ邦内諸州ノ清水中ニ産スル小水草デアルガ此品字藻ハ外型外國產ノ *Lemna trisulca* L. ニ比シ異ル處カラ牧野先生ハ之ヲ var. *sagittata* MAKINO. ト云フ名デ改訂植物圖鑑ニ收メラレ又本誌三ノ三ニ之ヲ記サレテ居ル產地ニヨリ其生態ハ決シテ一樣デナク流水中ノモノト然ラザル處ノモノトデハ假根ノアルモノモ無キモノモアル葉狀體ノ形狀ハ大略大同小異ト云ツテヨカラウ、極メテ普通ナ世間周知ノモノデアアルカラ一般的ノ形狀ナド茲ニ言フ必要ハナイガ此植物ノ葉狀體中ニハ多數ノ紡錘形ヲシタ小體ガ中筋線ト同一方向ニ散在シテ居ル、コレハ肉眼デモ廓大鏡デデモ充分見ラレルガ更ニ六十倍位ノ鏡デ見ルト此小體ガ束針晶(Raphiden)デアルコトガ判ル更ニ「ニトル」ヲ裝置スレバ尙更ヨク判ルノデアアルカラ Raphiden ノ「デモンストラチオン」ニハ持つて來イノ材料デアアル、シカモ材料ニ何等ノ加工ヲ施サズ其マ、鏡檢出來ルノデアアルカラ取扱極メテ簡便デアアル、藥液中ニ保存シタモノデモ乾燥シテ數年ヲ經タモノデモヨク見エルカラ一度採集シテ置ケバ度々使用スルコトガ出來ル怠ケ者ニ品字藻ニモ亦同一ノ事實ガアル西洋ノ本ニハ針晶體ヲ通

J. HUTCHINSON 氏ノ The Families of Flowering Plants ヲ讀ム

常 *Dracaena rubra* ノ皮部ナドデ説明シ居ルガ其レヨリモ此方ガ更ニ簡便デアル

## O. J. HUTCHINSON 氏ノ The Families of Flowering Plants ノ讀ム

久 内 清 孝

エングラード氏ノ自然分科體系ヲ金科玉條トシタ時代ハ近代ニ於ケル植物分類學ノ一時小康ヲ得タ時代デアッタト言ヘヨウ、此偉大ナル體系モ現代ニ至リ漸ク鼎ノ輕重ヲ論議セラル、時代ニ到達シタコトハ事實デアル、ツマリ現在ハエングラード氏ノ體系ニ對スル一種ノ反動的時代トナリツ、アルデアツテ主トシテ英米學派ガコノ重要ナ役目ヲ演ジツ、アル(部分的ニハ他ニモアラウガ)、サレバ往時ノベンサム及フッカーノ體系ガエングラード一派ニヨリ覆サレタト同様ナ運命ガ今ヤエングラード一派ノ大殿堂ニモ迫リツ、アルト云フコトガ出來ル、コレ人類思想ノ發達ニ伴フ必然ノ(可否ハ別トシテ)結果デナケレバナラナイ

然シテ全般的ニ反旗ヲカ、ゲテ敵ノ牙城ニ肉迫シツ、アルモノニ J. HUTCHINSON (英國) ガアル、氏ハ單子葉門ノ植物ヲ以テ雙子葉門ヨリモ更ニ後生ノモノトナシ其見地ヨリ單子葉ヲ後廻シトシテ最近雙子葉門ノ分類ヲ試ミ之ヲ世ニ問フテ居ル The Families of Flowering Plants, I. Dicotyledon ガ其レデアル、氏ハ古生花被亞門ノ筆頭ニ木蘭群 (Magnoliales) ヲ置キ同群ノ始メニ木蘭科 (Magnoliaceae) ヲ置イテ居ル然モ氏ノ Magnoliaceae ナルモノハ其範圍ヲ非常ニ縮少セシメタル從來ノ Magnoliaceae ノ一部デアツテ從來ノ同科カラハ Winteraceae (シキミ屬ヲ包含スルモノ) Schizandraceae (五味子ノ類) ノ如キ科ガ獨立サレテ居ル然シテ古生花被亞門ノ最後ノモノガ繖形花群デ繖形科ハ其最後ニ陣取ツテ居ル、マタ後生花被亞門ハ石南群 (Ericales) ヲ先陣トシ Clethraceae ヲ筆頭ニシテ縮小サレタル石南科ガ其次ニ配サレテ居ル然シテ此門ノ殿陣ハ從來ハ菊科デアッタノガ脣形科ニナツテ居ル、サレバ氏ハ雙子葉門中最モ原始的ノモノヲもくれんノ類トシ最モ進化シタモノヲ脣